



座光寺風景

早く大きくなあれ

今回植えられた樹は、令和2年3月に南本城から採取されたアオキ、オオモミジなどの11本です。座光寺の自然を身近に感じてほしいとの願いを込めて植樹されました。

雨天という天気予報を覆し、晴天となった3月19日(土)に、「親子植樹in恒川」が開催されました。この事業は、恒川史跡公園の「清水エリア」に座光寺に自生する木々を親子で植樹するというもので、飯田市教育委員会文化財保護活用課と公民館の共催として行われました。開会式で片桐館長は、「座光寺地域の財産である史跡を守っていくために、史跡公園を整備しています。今日、植樹した苗木の成長を見ながら公園に親しみを持って活用して欲しい」と語りました。11組36名の親子の参加があり、用意された11本の苗木を、1組1本ずつ植樹しました。

(株)伍福園さんと文吾林造園(株)さんに指導していただき、手順の説明を受けながら進められました。事前に掘られた穴に、肥料と土を入れよく混ぜ合わせ、地面と苗木がちょうど良い高さになるように穴の深さを調整し、土をかぶせる作業でした。子どもたちは、砂遊びをするように楽しみながら植樹をしていました。

遺跡は座光寺の財産
史跡公園に親しんでほしい



たくさんの家族に参加いただきました

参加した子どもたちからは、「楽しかった」「自然が増えた感じがして良かった」「自分の木が大きくなるのが楽しみ」といった感想が聞かれ、保護者からは「地元でこのような会が開催でき、子どもたちの未来につながるような場所ができて良かった」という声が聞かれました。史跡恒川官衙遺跡の適切な保存・活用を図るために史跡公園整備が進められていきます。恒川遺跡群はいくつかのエリアに区分されており、その一つが、この清水エリアになります。他のエリアに先駆け、「清水エリア」は4月から使用可能となるということです。

(広報部)
(関連記事3面)

令和3年度 自治会活動報告

座光寺地域自治会会長 牧野光彰

「第2次座光寺地域基本構想・基本計画」の5年目にあたり、目指す将来像である「あなたも私も暮らしやすい自然・歴史・文化・ものづくりが煌めく新舞台『麻績の里座光寺』」の実現に向けて、6つの基本方針に基づく活動を実践してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、計画どおりに事業が実施できなかつたり、規模縮小や延期を余儀なくされたりするなど、昨年度に引き続き、大きな影響を受けることとなりました。

その中で、各委員会と連携し、進めてきた主な事業について報告いたします。

まず、基本構想・基本計画についてですが、次年度が前期6年の最終年度となることから、令和5年度から始まる後期計画の検討に向け、過去5年間の総括と見直しの進め方の検討を行いました。

会を中心に、説明会や意見交換会が開催され、進捗の差はあるものの、用地の取得や協議が進められております。懸案のリニア本線の環境対策工（下段地域の防音防炎フード設置）については、環境基準の達成を求め、関係者による協議が継続されています。また、代替地整備については、唐沢・宮の前地区は市道改良が完了し、分譲地の造成と住宅の新築移転が進みつつあります。共和地区についても今年度から整備が始まっています。

昨年度より整備が進められていた、恒川官衙史跡公園整備事業の「恒川清水と周辺エリア」では水をたたえた清水がよみがえり、四阿・ベンチなど住民の皆様が憩えるような公園整備が、本年度末に完了し、4月にはお披露目会も計画されております。

子どもたちから開催の希望の多かった夏祭りは、コロナ禍のため残念ながら今年度も中止となってしまいました。願が、地域を元気にしようとする

い、「コロナに負けるな、座光寺を元気にするアマビエ花火」と銘打って8月4日にエス・バードにおいて花火の打ち上げを行って、地域の皆様に楽しんでいただきました。

「田舎へ還ろう戦略」の一環として、豊かな自然・歴史・文化・ものづくりを映像化したプロモーションビデオを昨年度作成しましたので、「市長と語るまちづくり懇談会」や前年度成人の皆さんの「若者の集い」で放映したり、座光寺地域ホームページでも見られるよう掲載したりして活用に努め、地域を離れている方などへのふるさと情報として発信しました。



学校との連携に関する新たな取り組みでは、「飯田コミュニティースクール」の一環として、高陵中学校で行われた地域学習に自治会役員等が参加し、生徒に地域活動や課題について話す機会が設けられました。それぞれの立場で「自分たちができるのは何か」を考え、地域・学校が一体となって学校運営の改善の取り組み等の懇談を行いました。



2000年浪漫の郷委員会では、史跡等の案内組織「浪漫の郷座光寺案内人」のロゴマーク・ジャンパー等を整備し、本格的なガイド活動への準備が進められました。残念ながら今年度はコロナ禍で思うような活動はできず、今後はコロナの落ち着きを見ながら進めていくこととなります。

「歴史に学び地域をたずねる会」を中心に、地域に残る

貴重な歴史、文化遺産の保存・整備、利活用の一環として「麻績の里マップ」を作成しました。地域を訪れた方にも手に取ってもらいやすくするため、マップやパンフレットを収納するケースを自治振興センター下と高岡古墳広場に設置しました。また、地域の自然・歴史・文化を後世に残すため地域の古老より聞き取りをした記録をまとめ、「古老が語った我が歩み語り継ぎたい『昭和・平成の記憶』」として発刊し配布・販売を行いました。

以上、今年度実施した主な活動をあげさせていただきます。新型コロナウイルスにより活動が制限された中ではありましたが、各委員会と連携し、できうる事業を進めて参りました。



座光寺地域 作品・活動紹介展

期間：3/12(土)～3/20(日) 場所：公民館1階 視聴覚室・竹の間・廊下





先人の思いをつなぎ 未来にはばたけ座光寺小学校

座光寺小学校 開校 150 周年に向けて

座光寺小学校 150 年のあゆみ

年度	事項（開校百周年以降を中心に掲載）
明治5年	筑摩県第三十二小校と称し、如来寺に開校。読書・習字・算術を教える。
明治7年	舞台校舎に移り、新築落成を行う。
明治19年	連合村内の学校を合併し、第二小区座光寺学校と改称。本校を座光寺に、支校を別府および黒田に置く。義務教育4か年が定まる。
明治22年	連合村分離して座光寺村となり、座光寺尋常小学校となる。
明治28年	体操場を新築する。玄関前の枝垂れ桜を植える。
明治41年	校歌を制定し校舎落成式を行う。
大正11年	開校50周年記念式挙行、大塚古墳を発掘する。
昭和16年	座光寺国民学校となる。
昭和22年	六三制実施され、座光寺小学校となり、高等科を廃止して座光寺中学校が生まれる。
昭和31年	町村合併により飯田市立座光寺小学校となる。
昭和36年	梅雨前線豪雨により被害大きく、27日より7月1日まで臨時休業を取る。
昭和37年	開校90周年記念式典行われる。
昭和47年	開校百周年記念式典行われる。舞台校舎が「飯田有形文化財」に指定される。
昭和50年	児童会歌完成する。
昭和52年	座光寺小学校早期改築を飯田市基本構想座光寺地区審議会に提案。
昭和56年	小学校改築工事に伴う安全祈願祭。
昭和58年	新校舎竣工。
昭和59年	新校舎へ移転。実質的開校。体育館竣工
昭和61年	移転改築落成記念祝賀会行われる。
平成2年	新プール完成。
平成6年	自治会などより楽器寄贈。
平成8年	移転10周年記念式典挙行。
平成10年	コンピュータ教室設置（36台）
平成13年	あそびの森 遊具施設設置。
平成14年	防犯施設の充実（警備システム、防犯ベル、北校舎非常階段フェンス等）
平成15年	飯田市が学校インターネット3事業に参画。光ファイバーによる高速接続が可能になる。
平成18年	学校週5日制実施。
平成19年	人形劇フェスタで来飯した台湾「平等小学校」との交流が行われる。
平成21年	長野県「学校安全優良校」受賞。
平成25年	防犯パトロールボランティア組織発足。
平成26年	「安心メール」利用開始。
平成29年	自治会よりグラウンドピアノ寄贈。
平成30年	特別支援学級そよかぜ組（自閉症・情緒障害児学級）が新設される。
令和元年	北校舎水道工事に伴い、北校舎トイレが改修される。南校舎水道工事に伴い、南校舎トイレが改修される。各教室にエアコンが設置される。

麻績の瑞垣 神さびて
すてぬちかひの寺古て
むかしながらに うたわれし
平和の村こそ
たのしけれ

座光寺小学校校歌を口ずさむと当時の思い出がよみがえるものである。地域の教育の基盤である座光寺小学校が22年度で開校150周年を迎える。これに先駆け、「座光寺小学校150周年記念事業実行委員会」（以下、実行委員会）が令和3年10月に組織された。

この実行委員会は、塩澤裕二校長を実行委員長として、自治会（正副会長・総務文教部長）・自治振興センター長・公民館（館長・主事）・PTA（正副会長）・小学校（教頭・教務主任）などから構成されている。地域・PTA・学校が三位一体となり、年間を通して150周年を感じることものできる取り組みができるように話し合いを進めている。

3月3日（木）に開催された第3回実行委員会では、式典の候補日・年

間を通して子どもに還元していく活動・PTAでのアンケート結果報告などについて協議された。実行委員の前公民館長塩澤哲夫さんは、「座光寺の子どもたちが自主

的に参加する活動になればいいと思う。150周年をみんなで祝えるように方向性を合わせ、それぞれの企画を細かくいところまで検討していきたい」と語った。

座光寺小学校 思い出の写真&エピソード大募集！

この「広報座光寺」も、座光寺小学校の歴史を感じる内容を取り上げ、座光寺小学校150周年を盛り上げていきます。期間中、写真や文章を掲載して歴史を振り返る企画

を検討しています。皆様の家に眠る座光寺小学校に関する思い出の写真にエピソードを添えて座光寺公民館まで提出していただけたら幸いです。（写真はお返しいたします）



旧座光寺小学校

懐かしい木造校舎
(昭和50年代)

現座光寺小学校

校庭で校章を表す
(平成18年)

消えゆく 大堤を惜しむ



座光寺地域上段の大堤団地北隣りに位置する上下二つの堤は、この日、春めいた陽光を浴びて穏やかな水面に枯草の影を映していた。サギだらうか、白い中型の鳥が岸辺で羽を広げ、つがいとおぼしき2羽のカイツブリが気持ち良さそうに並んで水面を切つて渡っていた。隣りの雑木林には思い思いにさえずる野鳥の声が聞こえていた。こんな罪も無い風景が、この先消えてしまふ日が到来するようだ。

この二つの堤の呼び名は、『座光寺村史』によると、下の大きな方が「原大堤」、上の小さい方が「原大堤重堤」である。大堤をもつてしてもまだ水不足であったため、大堤の上へ重ねて堤を造つたといういきさつのような。「原」と付いているところを見るとこの大堤の存する地籍は原。今の「大堤」という地名は、三六災害後に大堤南から水田復旧用の土が取られ、跡地に住宅が誘致された頃、堤の名に因んで付けられたのだろう。前出の『座光寺村史』によれば、下の堤が造られたのは江戸時代前期、今から約360年前。重堤は約150年前。どちらも古く歴史ある堤である。周知の通り、河岸段丘上にある座光寺地域は古くから農業用水を北の南大島川、南の土曾川に求め、この二つの川から引き込んだ井水を次々と分岐させ、傾斜地を潤してきた。さらにあちこちの井水に溜め池（堤）を併設し、日照りによる水不足に備えてきた。

こうした仕組みも、昭和43年に幾多の困難を経過して「竜西一貫水路」が完成して水不足が解消されたり、地域の農業が変遷したりで、次第にその役目が減少していった。いくつもあつた堤は一つまた一つと姿を



気持ちよさそうに進む2羽のカイツブリ

消し、この度、座光寺一大きく歴史も古い「原大堤」も、とうとう管理組合の手を離れて所有者である飯田市に返還された。当初の役目を終えて久しいこの堤を長年管理してきた「西ノ沢井管理組合」は、仲間の高齢化に伴い、堤土手の草刈りや豪雨時の堤の水位管理等が負担となつていると、水難事故や大地震時・豪雨時の堤災害リスクに責任を負いきれないことなどを理由に挙げていた。管理組合自体は解散するわけではなく、周辺の雑木林と西ノ沢井の維持管理は継続していくとのこと。飯田市では返還された二つの堤を埋め立てる方向で考えており、跡地利用の検討をしているという。

寂しさを禁じ得ないであろう。また、座光寺小の児童や先生の10年程前の調査報告によれば、大堤には30種類の野鳥が観察され、中にはオオタカ・ミサゴ・サシバのような国の絶滅危惧種も存在するという。目の覚めるような美しい青色の羽を持つカワセミもいるというから驚きだ。こうしたかけがえない豊

地域の絆は財産

座光寺の声

地域の絆は、重要な地域の財産なのです。私はスポーツと健康について調べてみました。近年の研究では、運動と同等以上に文化・ボランティアや地域活動など、「人とのつながり」が、フレイル（要介護手前）予防に重要であることが分かってきました。公民館や自治会へ持続的な参加をしていくことが、フレイル予防となるのです。

ここ2年間は、集まれることも減り、地域の絆が希薄になりました。気楽で良いと考

えている心の隙間に、フレイルの危険が潜みます。「人のために」という活動は、他人を思いやる中で、思わぬ発見や、能力が開発され、脳の前頭葉が活性化されます。脳が若返ると、身体が若返る。人に関わっていると、自分が見えてくる。

かな自然・歴史・文化を無くしたくないと、住民から大堤保存の声も挙がるが、何かあつた時の責任論をかざされては、誰も結論を覆す勇気を持たない。残念ながら、このまま埋め立てられる時を待つのであるう。大堤を気に入って生息する生き物たちの運命やいかに。せめて価値ある跡地利用を願う。（広報部）

SNSは、同じ意見の人が集まる様にできているため、お互いに「いいね」だけの付き合いになりがちです。地域活動の中で、自分の思いとは別の意見が出ることもありませんが、実は、その時こそ、他者を感じて、自分が成長するチャンスなのです。ピンチこそチャンス、たくさん話をして、お互いに心も体も健康にしませんか。

岩井 美季（下羽場）

飯田市 教育功労者表彰

今年度座光寺地区から6名の方が表彰されました。

塩澤 哲夫さん

(座光寺公民館長9年内、飯田市公民館長2年兼)

片桐 茂昭さん

(育成会10年、健全育成部14年)

佐々木 孝さん

ポッチャ体験会

公民館 体育部

座光寺公民館で「ポッチャ体験会」が3月13日(日)に行われ、4チーム19人が参加しました。



(文化部12年)
佐々木君子さん

(広報部、運営委員 計11年)

今村 治郎さん

(広報部10年)

湯澤 美鈴さん

(運営委員、健全育成部 計9年)

おめでとうございました。

これからも座光寺地域の活力のため、ともにご尽力ください。

ポッチャは2016年のリオパラリンピックから正式種目に採用され、近年注目が高まっています。ジャックボールと呼ばれる白いボールを投げた後、対戦する両者がそれぞれ赤と青の6球を投げ合い、自球をよりジャックボールに近づけたチームが勝ちとなります。

当日はまず体育部からルール説明が行われ、各チームで練習した後、2コートに分かれてチーム戦が行われました。

参加者からは「ここ2年はコロナ禍で地区のスポーツ行事がない中、最後にこのような体験会があつてよかった」「孫を連れて参加したがルー

子ども桜ガイド 学習会と体験会

3月20日(日) 子ども桜ガイドの学習会が開催され、中学1年生から小学3年生まで、8名の子どもが参加しました。

平成19年に始まった桜ガイドは今年で15年目、長い歴史の中で、その活躍は地域内外で高い評価を得て、数々の賞



誰でも気軽に楽しめるスポーツです

ルが簡単でいっしょに楽しめたい」「次回も参加したい」などの声がありました。

公民館では事前に連絡を頂ければポッチャの用具の貸し出しをします。興味のある方は公民館主事まで問い合わせをいただければと思います。

を受けるなどしてきました。しかし、残念ながらここ3年はコロナ禍のため、観光にきた方への対面で行う桜ガイドは行わないことにしました。

子どもたちに引き継がれた桜ガイドの歴史とノウハウを絶やさないため、学習会は毎年休むことなく行われてい

ます。当日集合したガイドの子どもたちは、ガイドのために麻績舞台桜のことや、石塚桜の

特徴や由来などを詳しく学ぶことはもちろん、旧座光寺小学校の舞台校舎・高岡の古墳・恒川官衙遺跡・麻績神社などの座光寺の歴史から、今後開通するリニア中央新幹線のことまで、座光寺地域につ



いて詳しく学びました。その後、実際に舞台桜の場所に移動し、桜の木の様子や舞台校舎を見学し、実際にガイドの練習をしました。

ガイドの練習をした座光寺小学校新4年生の今村奏太くん(宮崎地区)は、「地区のことを勉強するのは難しかったけど、まあまあ覚えられました。ガイドの練習をしてみても楽しかった」と話していました。

桜ガイドの先輩で、コロナ前に実際にガイドの経験のある高陵中学校新2年生の塚平陽介くん(共和地区)は、「去年も今年も実際にガイドができてないのは、とても残念。コロナに負けず桜ガイドが続けられるように、先輩にいろいろなることを教えてあげて、座光寺に来る方に喜んでいただきたい」と話していました。(広報部)

座光寺の自然シリーズ ⑳ カラスノエンドウ

春の野には見慣れた野草が
いっぱい。誰もが知っている
シロツメクサ（クローバー）
やアカツメクサ等。…それら
に準ずるのがカラスノエンド
ウです。名前は知らなくて
も、実物は「見たことがある」
のではないのでしょうか。ただ
最近の子供たちは外で遊ぶこ
とが少ないから、もしかした
ら知らないかも知れません。

3兄弟

カラスノエンドウには他に
似た種類が2つあります。ス



(左から) カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ

ズメノエンドウ、カスマグサ
です。いずれも座光寺にもあ
りますが、カスマグサはやや
稀、知らない人も多いかと思
います。この名はカラスとス
ズメの間（マ）からつけたも
の。実際、カラスノエンドウ
とスズメノエンドウの中間の
形をしています。またカラス
やスズメのような身近な生き
物の名を冠した植物は多い。
手元の図鑑ではカラスが10、
スズメが17種もあります。こ
れだけあれば「接頭語」で
すね。いずれカラスとスズ

メもこの連載で取
り上げたいもので
す。後半のエンド
ウの原産地は諸説
ありますが、ヨー
ロッパが有力。遣
唐使を通じて日本
に入り、江戸時代
に全国に広まった
とされます。米な
ど農作物は人類史
に影響を与えまし
たが、そこまでは
影響が無い種類で
す。

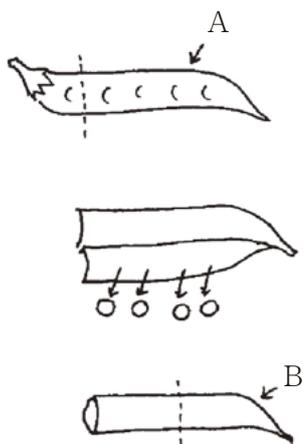


秋の芽生；双葉は地中
にある

生活史

冬型一年草。秋に地下子葉
型で芽生え、春に開花結実。
初夏にはタネをつけて枯死し
ます。この果実が黒いのがカ
ラスを冠したとも、また他の
2種よりも大きいからとも言
われます。花は良く見るとな
かなかきれい。今春はぜひ見
てください。

冬型一年草は冬期～早春に
他の木や草が上部を覆う前の
地上の空いた空間を利用する
ように進化した種類です。早
春は光が強いのに他の草があ
りません。それを使うのはな
かなかの知恵者。しかもマメ
科ですから地中では根が根粒
菌を利用してします。



草笛；Aの部分を開いて
たねを出し、中ほどを
切ってBを点線まで口
に含んで吹く。

自家受粉

きれいな花で虫を誘っ
て花粉を運ばせる。うま
くないかと自分の花の
雄しべを雌しべにつけ
る、これが自家受粉。自宅
のエンドウマメ、結実率は
100%でしょう。自家受粉
に秘密があるので。

メンデルが遺伝の法則を発
見したのもエンドウを使った
から。それも自家受粉の性質
があったから。

草笛に

実が9割ほど熟した果実を
使って草笛ができます。種子
を出した空の鞘の隙間を振動
させるもの。ちょうど良い隙
間ができるのは4割ほど。い
くつか試すとときつと鳴りま
す。今春はぜひお試しください。
(伊那谷自然友の会 小林正明)

編集後記

家の東にあった宮の前歩道橋
が1月17日(月)に撤去された。
11日(火)に工事が始まり、道は
通行止めになった。

国道から市道に替わった道だ
が、観光バスやコンクリートミ
キサー車等けっこう往来があ
る。車が通らなくなったので静
かだ、昼間は工事の音だけが響
いた。両側の階段が何日かかけ
て無くなり、続いて道路を渡っ
ていた部分が無くなった。する
と、何と北の空が広がった！
このことを息子に知らせる
と、「小学校の時、歩道橋の上
と自分の部屋とで、友だちとト
ランシーバーでやり取りして楽
しかったな。そうか、なくなっ
ちゃったか。おじいちゃんも橋
にあった街灯の下でカブト虫を
捕ったこともあったなあ」と懐
かしんでいた。

2月前半に通行止めもなくな
り、車のガタガタと走る音がま
た始まった。
(広報塩澤)



思い出の詰まった歩道橋

